

SP-A3

～海外プロジェクトのトラブル～

契約面からの予防と解決のプロを目指して

第 19 回



開催日：2024年 10月2日（水）午後・3日（木）終日

開催方法：会場またはオンライン受講（Zoom）

一般財団法人エンジニアリング協会

セミナーのねらい

海外におけるプラント建設等、海外プロジェクトを遂行するには様々なトラブルに遭遇しますが、それらの多くには、契約上の措置をきちんと取っておけば未然に防げたものや損害を軽減できたものも少なくありません。工事内容・範囲の不明確さに起因する工事の手直し・工事の追加、発注者都合による工事範囲の追加・変更（Change Order）に伴う納期延長・追加コスト支払い交渉の不調、性能確認試験における原料・ユーティリティ（電気・ガス・水）の発注者責任による供給の遅れに伴う引渡の遅れ等、枚挙にいとまがありません。その結果、納期の遅れ、工事費用の増加、売上入金の遅れ等が生じ、工事採算が悪化することがあります。

さらに、海外プロジェクトがこれまで以上に大型化し、関係当事者も増え複雑化しているため、トラブルが未経験なものも含めて発生する可能性がますます増えています。

本セミナーは、これら海外プロジェクトに絡んで起こるトラブルの主要なものにつき、その原因を契約面から分析するとともに、当協会が策定し発行した『ENAA モデルフォーム、プロセス・プラント国際標準契約書（※）』の規定や考え方を理解することを通じ、これらを予防し解決する実務的能力を習得することを目的としています。

本セミナーでは、プロセス・プラント国際標準契約書を適用してトラブルを予防し解決する実務能力を習得するには、標準契約書の理解と事例に適用する訓練の両方が必要であるとの考えに立ち、プログラムは①契約の基本スキームや標準契約書の講義・解説、②事例研究のグループワークの2つの要素から構成され、実務能力の獲得を目指しています。

なお、標準契約書の解説では、全ての事項を総花的に解説するのではなく、海外プロジェクト遂行上の重要事項を重点的に解説しますので、容易に標準契約書の基本的な考え方を把握することができ、短期間で契約面からトラブルを未然に防止し、また解決する実践的能力を獲得することができます。

※【ENAA モデルフォーム プロセス・プラント国際標準契約書】

当協会の契約法務部会が永年の研究と実務経験に基づき策定し発行したもので、各種プロセスプラントに係わるエンジニアリングおよび建設の分野において、発注者と受注者の双方から歓迎され、世界中の多くのプロセスプラント建設プロジェクトにおいて使用されている。

特徴；(1)発注者および受注者双方にとって使いやすい公平な条件を整備。

(2)文章を簡明にし、法律の専門家でない方にも容易に理解できる内容。

セミナーの特徴

本セミナーは、トラブルを未然に防止し対処する実務的能力を習得するため、次のように『ENAA モデルフォーム プロセス・プラント国際標準契約書』の重要事項の解説と事例研究との2つのカテゴリから構成されています。

- (1)解説：ジョイントベンチャー／コンソーシアム、ライセンスなどの契約の基本スキームの説明を行った上、海外プロジェクト遂行上トラブルがよく起こる事柄に関連して、契約上の重要事項[※]につき、適宜、FIDIC フォーム[※]との比較も踏まえ ENAA モデルフォームの規定内容や重要条문을解説します。これにより、トラブルに対処する基本知識を習得することができます。

※ 契約上の重要事項：“契約の発効と納期”、“不可抗力事象の発生”、“工事の内容と範囲の特定”、“工事内容の変更”、“工事の完成と引渡”、“性能保証”、“瑕疵担保”など。

※ FIDIC フォーム：スイスに本拠をおく「国際コンサルティング・エンジニア連盟」が制定し、ENAA モデルフォームと同様、海外プロジェクトで広く使われているモデルフォーム。

- (2)事例研究：海外プロジェクトの遂行上トラブルがよく起こる事例に関連し、その予防・解決方法につき、グループワークにより、討論し、発表し、講師が講評します。これにより、トラブルに対処する実務能力を習得することができます。

☞ 「ENAA モデルフォーム プロセス・プラント国際標準契約書（2023年版）（あるいは2010年版）」をお持ちの方は、当日、お手元にご用意ください。

会場受講またはオンライン受講から選べるハイブリッド講座

本セミナーは、1 日目午後（講義・解説）、2 日目（講義・解説および事例研究のグループワーク）いずれも、会場（ENAA）またはオンライン受講（Zoom）のどちらかを選べるハイブリッド形式で行います。講義・解説においては、講師からの一方的な説明にならないように、参加者の皆さんから気軽にコメントや質問を行っていただける機会を積極的にもうけ、いずれの形式の参加でも同様に小規模な受講を体験いただけます。また、事例研究のグループワークにおいても、少人数のグループ編成とし、参加者の皆さんが積極的に議論に参加いただけるように行います。

参加方法：1 日目【会場】 or 【オンライン】
2 日目【会場】 or 【オンライン】

※ 1 日目と2 日目で異なる参加方法の選択も可能です。

参加対象 ☞ 特にこの様な方々に参加をお勧めします

国際プロジェクト関係業務（プロジェクトマネジメント、基本・詳細設計、機材調達、建設工事、試運転、営業、財務・ファイナンス、法務等）に携わっておられる方々、もしくは今後これらの業務に携わる予定の方々。

講師プロフィール

勝見 和昭 (かつみ かずあき)

元当協会契約法務部会 部会長

(経歴)

ENAA モデルフォーム国際標準契約書、および国内標準契約書の各解説セミナー講師

(株)神戸製鋼所 エンジニアリング事業部プロジェクト契約室長、リスクマネジメント室長

(株)神鋼環境ソリューション 法務担当部長、トランスニュークリア (株) 監査役

日本商事仲裁協会主催、東洋経済新聞社主催の仲裁に関する各セミナー、フォーラムの講師、パネリストなど

開催要領

開催日時：2024年10月2日(水) 13:00~17:30
10月3日(木) 9:30~17:00
(詳細はプログラムをご参照ください。)

開催方法：会場またはオンライン受講を選べるハイブリッド形式
会場：一般財団法人エンジニアリング協会会議室
東京都港区麻布台1-11-9 (BPRプレイス神谷町 9階)
オンライン：ZOOMを使用

受講料：一般 50,000円(消費税込)
賛助会員企業 33,000円(消費税込)

申込方法：当協会ホームページから、受講方法の選択を含め、お申込みください。

「第19回SP-A3

~海外プロジェクトのトラブル~契約面からの予防と解決のプロを目指して」

<https://www.ena.or.jp/seminar/67498>

お申込受付け後請求書を郵送しますので、原則セミナー開催前迄にお振込みください。

口座名義：一般財団法人エンジニアリング協会

口座番号：三菱UFJ銀行本店(普) 7641424

みずほ銀行東京営業部(普) 1824021

※お振込みくださいました受講料は原則ご返金できません。

申し込まれた方が参加できなくなった場合は代理の方がご参加ください。

締切日：2024年9月20日(金)

定員：24名(先着順に受付け、定員になり次第締切ります。)
(最少催行人数：6名)

参考図書：ENAAモデルフォーム プロセス・プラント国際標準契約書
セミナーでの説明、ワーク用に一部だけ抜粋した資料を、事前に、送付いたしますが、正規版(2023年版あるいは2010年版)をお持ちの方は、当日、お手元に用意ください。

《お問合せ》

一般財団法人エンジニアリング協会 産学人材開発部 田中理恵、田中愛子
東京都港区麻布台1-11-9 (BPRプレイス神谷町 9階)
電話：03-6441-2910(代表) E-mail: seminar-spa3@ena.or.jp

プログラム

第1日目 10月2日(水)	
時間	項目
12:45~13:00	【会場】受付 【オンライン】受講者各自のPCから、ENAA指定のURLに接続
13:00~13:05	開講・オリエンテーション
13:05~15:50 (途中、適宜、 10分程度の休憩)	【第1部】 ・キーワード ・契約の基本的捉え方 ・国際契約のモデルフォーム ・主なトラブルの原因の要素 ・トラブルの主要項目、トラブルを少なくするために ・契約スキーム (JV/コンソーシアム) (ON/OFF Shore 契約) (ライセンス契約)
15:50~17:20 (途中、5分程度の 休憩)	【第2部】 ・英文契約書の読み方のコツ ・契約の調印と発効 ・工期延長 ・工事の内容と範囲の特定 ・函面、書類の承認 ・The Engineer ・工事(供給)範囲の変更
17:20~17:30 (10分)	質疑応答



第2日目 10月3日(木)

時間	項目
9:15~9:30	【会場】受付 【オンライン】受講者各自のPCから、ENAA指定のURLに接続
9:30~10:50 (途中休憩有)	【第2部】(続き) ・不可抗力 ・工事の中断、契約の解除 ・工事の完成 ・性能保証試験と引渡し
10:50~12:00 (途中休憩有)	・予定損害賠償金(Liquidated Damages)とペナルティ ・クレーム、バックチャージ ・瑕疵担保責任
12:00~12:50	昼食休憩 50分
12:50~14:00	・ボンド(履行保証等) ・責任の限定 ・紛争の解決
14:00~14:10	休憩 10分(グループワークの準備)
14:10~16:50	【第3部】 事例研究(グループ討議/発表/講評)
16:50~17:00 (10分)	質疑応答

